

ちろ特報部

障害者はひんむりに
はできない。障害の内容
により、困難も異なる。
体を動かすための神経
系が徐々に壊れ、体が動
かなくなる進行性の難病
筋萎縮性側索硬化症(A
L S)患者にとって、避
難や停電下の生活は命が
けだった。移動が難し
うえ、呼吸器やたん吸引
器の電源確保が死活問題
だからだ。

日本A L S協会(東
京)の金沢公明事務局長
の下には、惨状の報告が
次々と寄せられている。
仙台市の患者は停電で
呼吸器が使えなくなった
後の二日間、自動車のシ
ガレットライターから電
気をとったり、家族に手
動ポンプで気道に空気を
送ってもらったりして、
何とか命をつないだ。

ガソリン式の発電機は
騒音が伴うため、避難所
やマンションでの使用は
難しい。自動車用バッテ
リーを工夫して使ってい
る患者もいるが、うまく
作動する保証はない。金
沢さんは「メーカーや公
的機関は、バックアップ

「さいたまスーパーアー
ナ」で、耳の不自由な避難者
のために用意された看板「先
月20日、さいたま市で(さい
たま市社会福祉協議会提供)

呼吸器など 電源確保が急務

手動ポンプで命つなぐ

用の電源確保に力を貸し
てほしい」と訴える。
聴覚障害がある人たち
は緊急情報から取り残さ
れる恐怖を味わった。
全日本ろうあ連盟(東
京)によると、宮城県内
の聴覚障害者が車で避難
中に突然、見知らぬ人か
ら車外に引っぱられられ
た。しばらく引きずられ
るようになって走った後に
振り返ると、乗っていた
車が津波にのまれること
もなかったという。

避難所でもアナウンス
が聞こえずに配給を受け
られないことや、周囲と
安院、東京電力の会見で
も通訳者を置くよう要望
する(左)にしている。

精神障害のある人の家
族でつくる「全国精神保
健福祉会連合会(みんな
ねっと)」(東京)では
「大勢の中が苦手な人が
多い。短期的には避難所
にプライバシーを守る
空間をつくらせてもら
うことが、長期的には巡回訪
問などで在宅の人の支援
が重要だ」と話す。



「さいたまスーパーアー
ナ」で、耳の不自由な避難者
のために用意された看板「先
月20日、さいたま市で(さい
たま市社会福祉協議会提供)

会見の手話通訳 目立たせて



ら透析可能な医療機関の
確保が大問題に。自閉症
や発達障害などのある子
供たちが避難所に入り
にくく、家族と車の中で寝
泊まりを続けたという事
例も報告されている。

宮城県内に向かうリフト
車。被災地では車いすで移
動できる車両が不足してい
る(東京都江戸川区で(S
TEEPなどが提供)

「原発事故では、どの
レベルで避難しなければ
ならないか、あらかじめ
基準を示してほしい。避
難先でもヘルパーを確保
できるよう、従来の資格
にとらわれずにヘルパー
が活動できるように柔軟な
対応も不可欠だ」

障害者ある人への
支援金の寄付先

郵便振り込みの場合
郵便振替口座 00140-7-429771
東北関東大震災障害者救援プロジェクト
銀行振り込みの場合
ゆうちょ銀行 店番019 当座0429771
クレジット決済専用アカウント
www.j-payment.co.jp/lan/bokin/dpi.jp.html?1
(1000円からの寄付が可能)